

2019年度 第1回 常務委員会議事録

日時:2019年9月11日(水)18:00~20:10

場所:帝京平成大学中野キャンパス 1144 会議室

出席者:久田健一郎,高橋 修,伊藤 孝,小森次郎,澤口 隆,清水政義,林 慶一(スカイプ),
廣木義久(スカイプ),松本 現,間處耕吉(スカイプ),宮下 治,米澤正弘,吉本直弘(スカイプ)(計13名)

議題

1. 『地学教育』について

『地学教育』誌が,2019年度発行の72巻から,一般会員向けとしては電子ジャーナル化となることを受け,以下の点について決定した.

- ・これまで通り,掲載料の徴収はしない.
- ・原則義務となっていた著者による論文の別刷購入は,電子ジャーナル化を期に希望者のみとする.別刷り希望者には別刷り代に加え,事務手数料2000円負担頂く.
- ・『地学教育』発行後1年間とした会員限定の認証公開は,J-Stageを介し,全会員同一の購読者番号,パスワードを使用する.なお購読者番号,パスワードの情報は,新号がJ-Stageに掲載されるたびに,会員に周知する.またパスワードは1年を目処に変更する予定である.
- ・冊子体購入希望に関しては,毎号ごとの対応とせず,年間購入単位とし,前払い定価制とする.価格については,前年度の論文ページ数の実績を参考に設定する.
- ・『みんなの地学』の発刊に伴い,これまでの編集委員会規則を,『地学教育』『みんなの地学』それぞれの編集委員会ごとに,個別に整えることとする.
- ・現在すでに投稿済みとなっている「地学教育ニュース」の原稿に関しては,これまで通り『地学教育』に掲載することとする.

2. 『みんなの地学』について

新雑誌『みんなの地学』創刊に当たり,以下の点について議論した.

- ・雑誌名『みんなの地学』の決定過程の概要を確認した.
- ・『みんなの地学』創刊号の構成を確認した.担当未定となっていた非会員向けの「地学教育学会の概要紹介と入会の案内」の記事は,高橋副会長に原案を準備頂くこととした.
- ・電子ジャーナル移行後,『地学教育』に掲載された論文名等は随時『みんなの地学』に掲載する.
- ・『みんなの地学』創刊号の編集は,以前の常務委員会で決定されていた久田,高橋,渡来,伊藤に加え,廣木(『みんなの地学』編集委員会委員長)を加えたメンバーで行うこととする.
- ・『みんなの地学』における「地学教育ニュース」の掲載は,当面の間,各号2本を目標とする.
- ・『みんなの地学』創刊号は通常予算により会員向けに印刷することに加え,渡部景隆基金により

多数印刷する。その印刷分は、会員が講師を担当する各種イベント等において学会の紹介・入会の勧め等で活用していく。

3. 地学教育学会の活性化について

『地学教育』の電子ジャーナル化に伴い、会員サービスの維持・強化案について意見交換を行った。以下の案が挙げられ、今後、さらに議論していくこととした。

- ・冊子体『みんなの地学』とメールニュース・学会のホームページを介した情報提供の連携。例えば、書評、連載記事、学会記事、学会への提言などは編集委員による閲読後、メールニュース・学会ホームページで公開する。それらを一年分まとめたものを印刷体『みんなの地学』として再び公表する。それにより、投稿後のすばやい公開、多様な媒体を介した複数回の公開を可能とする。
- ・最新のニュース(例えば、J-Stage 上での『地学教育』の発刊、全国大会案内の公開、海外巡検の募集の開始など)は随時、各担当が Twitter を通して、情報発信を行う。
- ・会員・非会員に、J-Stage 上の『地学教育』へ注意を払って頂けるような工夫をしていく。例えば、ダウンロードランキングの公開・表彰、最多引用論文の紹介等。
- ・入会手続きの簡素化、年度途中の入会の場合の会費等の見直しを行う。

4. 会勢について

2019年8月26日付で、4年以上会費未納の会員(40名)を除名扱いとした。また、入退会状況は以下のとおりである。

入会者・正会員 武永有岐子(広島大学)、和田亜矢子(筑波大学附属中学校)、梅田真樹(大谷大学)、庄司真史(株式会社ライブ・アース)、上田 智(福岡県立玄界高等学校)

入会者・講読会員 (株)内山書店輸出部

物故者 増田哲雄

退会者 池田宜弘、宇田川 功、白石 正一、若松齊昭、中尾賢一、三嶋 渉、荒金孝明

報告・話題提供

1. 各種常置委員会から

編集委員会から『地学教育』72巻の編集・投稿状況の紹介があった。会員間の研究交流促進の目的で、原則、筆頭著者のメールアドレスをそれぞれの論文の最初のページ記載することにした旨、報告があった。

広報委員会から野外観察会の準備状況について紹介があった。

2. その他

久田会長より、2019年度の本学会海外巡検(韓国)について、準備・応募状況の紹介があった。8月31日の申込み締め切り時点で参加予定者は14名である。

清水会員より欠号となっていた『地学教育』7号の寄贈があった。これにより、現在欠号は8～10号を残すのみとなった。引き続き探していくことにする。

久田会長より、2021年度全国大会の会場を帝京平成大学中野キャンパスとする旨の報告があった。

次回、2019年度第2回常務委員会は、2019年11月27日(水)、帝京平成大学中野キャンパス1144会議室にて開催予定。